

## 授業方法改善プロジェクト 調査・研究報告

総括責任者 橋本 功

本プロジェクトは信州大学における授業方法を改善するために、平成13年度、橋本の下に編成された調査・研究である。このプロジェクトのメンバーと役割分担は以下である。

氏名	所属及び官職	現在の専門	研究の役割分担
*橋本 功	教育システム研究開発センター教授・同センター長	英語学	総括
進藤 政臣	保健管理センター教授・同所長	内科学	学生の人格発達調査と問題点
小林 正信	保健管理センター講師	精神医学	学生の人格発達調査と問題点
山本 英二	教育システム研究開発センター助教授	日本史学	GPAの調査・研究
子安 増生	京都大学大学院教育研究科教授	発達心理学	学生による授業評価の研究
菊池 聡	人文学部助教授	認知心理学	学生による授業評価の研究
湯田 彰夫	繊維学部助教授	認知科学	学生による授業評価の研究
中嶋 聞多	人文学部助教授	応用情報学	情報リテラシー
David Ruzicka	共通教育センター外国人教師	コミュニケーション論	英語テキストの開発・英語教育システムの改善
井上 逸平	人文学部助教授	異文化間コミュニケーション論	英語教育システムの改善
宮崎 清孝	長野県長野西高等学校教諭	英語教育	英語教育システムの改善
藤沢 衛	長野県飯山北高等学校教諭	英語教育	英語教育システムの改善
下井 一志	長野県諏訪清陵高等学校教諭	英語教育	英語教育システムの改善
矢澤 徳夫	長野県屋代高等学校教諭	英語教育	英語教育システムの改善

\* = 総括責任者

このプロジェクト・チームのメンバーは以下の5つのグループに分かれ、それぞれが次の研究分野を担当している。\*はチームの責任者を示す。

- 1) 学生の人格発達と学生生活： \*進藤政臣, 小林正信
- 2) GPAの開発： \*山本英二
- 3) 学生の授業評価： \*橋本 功, 子安増生, 菊池 聡, 湯田彰夫
- 4) 情報リテラシー： \*中嶋聞多
- 5) 英語テキストの開発： \*橋本 功, David Ruzicka
- 6) 英語教育： \*橋本 功, 井上逸平, David Ruzicka, 宮崎清孝  
藤沢 衛, 下井一志, 矢澤憲夫

この5つのグループが行った調査・研究の結果または中間報告は本紀要の以下の論文等である。

- 1) 「メンタル・ヘルス相談事例から見る学生の抱える諸問題」
- 2) 「信州大学『学生による授業評価』プロジェクト再評価」
- 3) 「共通教育課程における情報リテラシー教育の実践」
- 4) 「信州大学におけるGPA算出及び活用方法研究開発の中間報告」
- 5) “English Language Textbook Project (2)”
- 6) 「TEEプロジェクト」の実施環境について
- 7) 「信大生の英語力について」